

2024年2月20日

生成AI「ChatGPT」を活用し、生産性向上とサービスの質向上を実現します

～システム構築はベンダーの力を借りず、内製化します～

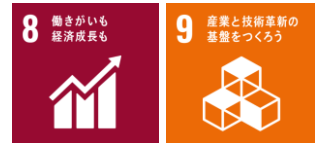
佐賀銀行（頭取 坂井 秀明）は、生産性向上やサービスの質向上等を目的に生成 AI「ChatGPT」の活用を進めていくことを決定しましたので、お知らせいたします。

ChatGPT 活用に関しては、2023年7月に当行システム部・DI 本部の若手行員で組成したプロジェクトチームで検討した結果、事務効率化に大きく寄与することが分かりました。

当システムの構築におきましては、システムベンダーの力を借りずに当行の若手行員プロジェクトチームにて内製化いたします。

まずは具体的な活用ケースで ChatGPT による行内事務効率化の検討を本格化させ、生産性の向上に繋がっていきます。

記



【サービスの概要】

利用サービス	日本マイクロソフト株式会社 Azure OpenAI Service
利用想定業務	行内規定検索、要約・翻訳、アイデアの創出

【取組事項】

本取組みは、日本マイクロソフト株式会社のクラウドサービスである「Microsoft Azure」の当行専用環境上に、同社が提供する「Azure OpenAI Service」を活用し、システムを構築するものです。

Azure OpenAI Service は Microsoft Azure 上で生成 AI を利用できるサービスで、入出力情報を適切に管理して入力情報を二次利用されることなく生成 AI を利用できます。

まず行内規定検索機能を実装し、幅広い用途に活用できるよう機能を追加していく予定です。

また、行員の利用に際しては利用ガイドラインを定め、お客さまの情報や機密情報等の取り扱いについては厳格に管理いたします。

以上

《本件に関するお問い合わせ先》
システム部 担当：溝上
TEL 0952(22)2114
<https://www.sagabank.co.jp>

【構築予定の機能】

ChatGPT の機能	効果
行内の規定やオペレーションマニュアルに関する質問への回答	資料検索や問合せにかかる労力・時間を削減
企画におけるアイデアのたたき台作成を実施	銀行の枠にとらわれないアイデアの創出を促進
文書の要約や、外国語文書の翻訳	当該作業の労力の軽減

【イメージ図】

チャット画面で行内規定に関する質問を行うと、ChatGPTが質問について回答します。

